

西宮市社会福祉協議会南甲子園分区

第8次南甲子園地区福祉計画(平成27年度～32年度)

心ふれあう 安心して暮らせるまち 南甲子園をみんなで作ろう

◆南甲子園地域と分区概要

南甲子園 総人口16,043人 6,577世帯 65歳以上3,369人 高齢化率21.3%
今津3町会 総人口 2,798人 1,422世帯 65歳以上 680人 高齢化率24%

- 地域の特徴
- ・幹線道路を一筋入れば住宅地である。
 - ・南には甲子園の海が広がり自然環境に恵まれている。
 - ・地域内に学校・幼稚園、公民館、市民館、コミュニティセンタ等学校、公共施設が多い。
 - ・校区には今津地区3福社会が含まれているが、行政区画としては鳴尾地区に今津3福社会が含まれていないので、校区内諸活動運営が円滑になされない。
 - ・上記の通り困難を抱えながら、福祉活動等については南甲子園と今津地区3福社会とは連携し協力している。

◆分区の主な活動

活動内容	回数	日時
ボランティアセンター「南甲こだま」	週2回	月・木曜日 午前9～12
子育て支援事業「プーさん広場」	月4回	毎週火曜日 午前10～11:30
独居高齢者「ふれあい昼食会」	月2回	第2・4水曜日
ふれあい配食事業	週2回	火・金曜日
ふれあいサロンこだま	月1回	第1月曜日 午前10～11:30

以上が定期活動である

- 独居高齢者向け「新春のつどい」
- 「敬老のつどい」
- 「福祉協力員懇談会」
- 「コーディネーター研修会」
- 「障がいのある人々と地域住民の交流会」
- 「障がい者自立支援制度セミナー」
- 「ボランティア懇親会」

以上の実施会場は「ふれあい昼食会」が南甲子園公民館で行われる以外、すべて甲子園地区コミュニティセンターである。

心ふれあう 安心して暮らせるまち 南甲子園をみんなで作ろう

重点項目

住民参加による福祉のまちづくり

①広報活動の強化

南甲こだまボランティアだよりの充実

②相談・情報充実

南甲こだまボランティアセンター機能の充実

③福祉意識を高める活動

福祉講座の提供 障がい者自立支援制度セミナー・
障がいのある人々と地域住民とのふれあい交流会

当事者を見守り・支える活動

①当事者への接近

要援護高齢者・障がいのある人々他の実態把握
ボランティアセンター相談機能の充実

②孤立・孤独を防ぐ活動の推進

当事者との懇談会、独居高齢者向けふれあい昼食
会、ふれあい配食の継続、見守り体制の充実、ふ
れあいサロンの充実、つどい場の拡充
「あんしんキット」配布

③災害時要援護者対策の充実

要援護者の把握、自治会、民児協、自主防災会、
市避難支援課、との連携

④子育て支援事業の推進

毎週実施の子育て支援サークル“プーさん広場”の充実

⑤あいさつ運動の推進

子どもの「見守り」の強化

ネットワーク活動の充実

地域ネットワーク活動の推進

自治会・民児協・老人クラブ・子ども会・専門
機関との連携促進、ネットワーク会議の充実

住民主体の組織の確立

①組織体制 分区組織の強化・充実

②次世代ボランティアの発掘・養成

③ボランティアセンター“南甲こだま”の充実

④活動基盤の強化 自己財源の確保:会員会費制度の推進

福祉計画策定にあたって

第8次地区福祉計画を策定するに際して、第7次計画の反省をしながら、策定委員会(地区ネットワーク会議)では住民意識調査アンケートを実施し、住民の福祉ニーズの動向を調査しましたが、その結果を踏まえ南甲子園分区の来る6年間の福祉活動を進めたいと思います。

住民意識アンケートの結果報告

目的 地域の福祉問題につき地域住民の考え、またニーズを理解し、それを踏まえて今後の福祉活動の課題とするために

対象 南甲子園校区(南甲子園分区及び今津3福祉会を含む)5,500世帯

実施日 平成26年11月

アンケート ・高齢者で老人会に入っていない人が70%いる。

- 結果**
- ・高齢者に見守りが至極大切である。
 - ・地域の「近所付き合い」の大切さをはじめとして地域の連携がコミュニティの活性化をもたらす。
 - ・あいさつ運動の奨励。
 - ・高齢者、地域の人々、子ども、障がいのある人等の交流の場「つどい場」が必要。
 - ・子育ての充実 子ども向けのイベントを増やす、子どもの「見守り」が大切。
 - ・高齢者の安心・安全を図るため地域の連携が必要(独居高齢者問題を含め)。
 - ・見守りの充実(対高齢者 対子供)
 - ・次世代との連携・引継ぎ。
 - ・同一校区でありながら、福祉活動に関し今津と鳴尾に分かれている矛盾を解決すべきである。
 - ・お助け制度が要る。等々。

- 課題1.** (短期的) ○「あいさつ運動」 まず近所同士のコミュニケーションを深める。地域の人々、高齢者、子どもの交流。
- プーさん広場の充実。
 - 独居老人の孤立の問題。
 - 生活に不自由している高齢者の増加対策。民生児童委員と老人会との連携強化。
 - 自転車事故対策が必要。
 - 近隣に異常事態が発生した時の対応をどうすべきか。

- 課題2.** (長期的) ○生活に不便を抱いている人々に役立つ助け合い制度創設
- つどい場づくり(住民が気楽に話し合える場)
 - 子ども向けイベントを増やす。
 - 独居高齢者の支援
 - 見守りの充実(対高齢者 対子供)
 - ボランティアに若い人々の協力促進のシステム樹立。
 - 今津地区3福祉会が南甲子園校区における諸活動に、整合性をもって円滑に行うことができること。
 - 自治会への加入促進。

策定委員会(南甲子園校区地区ネットワーク会議)

【地区ネットワーク会議の構成メンバー】

南甲子園校区各自治会長、各老人クラブ会長、各福祉部長(民生児童委員)、南甲子園自主防災会長、南甲子園小PTA会長、校区子ども会会長、地域包括支援センター代表、市社協代表

第1回 平成26年8月8日(金)

地区ネットワーク会議の立ち上げ
地域諸団体と専門機関が連携し「地域のあんしんづくり」を推進する

第2回 平成26年10月17日(金)

南甲子園地域住民意識調査について(11月実施)

第3回 平成27年12月12日(金)

「アンケート」(住民意識調査)回答結果を検討。

第4回 平成27年3月6日(金)

「アンケート」結果の意見・提言を踏まえ、地域福祉計画を検討する。
その具体的活動として「あいさつ運動」を取り上げる。内容について小委員会で検討する。
(小委員会を4月6日、5月7日開催、実施内容を決める。)

第5回 平成27年5月29日(金)

小委員会報告に基づき、「あいさつ運動」を6月より、各自治会において実施。

「あいさつ運動」に次いで、本会議の次の事業として地域の高齢者対象に「あんしんキット」配布を目指す。
(6月26日「あんしんキット」小委員会開催)

第6回 平成27年8月17日(月)

「あんしんキット」配布希望者調査実施計画。(9月実施)

「あいさつ運動」反省。

地域福祉計画の方向性を検討。

第8次計画立案のため9月12日委員会開催決定。

第7回 平成27年9月12日(土)

第8次地域福祉計画策定委員会(総括)

策定委員(11名)

泉 敏夫 (分区長 自治会長)	高本 弥樹子(南甲子園小PTA会長)
高松 真一 (副分区長 自治会長)	岩本 久美恵(南甲子園小PTA前会長)
佐川 和子(副分区長 民生児童委員)	田中 喜美子(主任児童委員)
中野 慶子(同 上)	
田中 保代 (会計 民生児童員)	
古江 敬治 (自治会長)	
中島 徳郎 (自治会長)	
前田 信雄 (老人クラブ連合会長)	